

閲覧用

守谷市まちづくり協議会設立に向けたシンポジウムにおいて提出された

御質問・御意見 / それらに対する市の考え

市民協働推進課

「まちづくり協議会」に関する「御質問・御意見」、それらに対する「市の考え」

No.	御質問・御意見	市の考え
1	<ul style="list-style-type: none"> ▪ ネット社会が発展している中、地域とのふれあいに積極的でない、もしくは拒否されている人もいる。その人達との関わりをどう考えるか。 ▪ 学校は教育財産であるが、自治会・町会に開放できるのか。 ▪ 鶴ヶ島の人的費用は抑えられているようだが、年金が多くもらえる団塊の世代がいなくなった後も組織を維持することはできるか。今後団塊の世代の価値観を持つ高齢者は少なくなっていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 本市においても、ライフスタイルや個々のニーズの多様化、少子高齢化・人口減少等の社会環境の変化によって、地域のつながりの希薄化が懸念されています。今後、地域とのつながりに積極的ではない、拒否されている人を取り込む仕組み、関わりを持つことができる仕組みを地域の皆さんと考えていく必要があります。「まちづくり協議会」がそのような仕組みを担う組織となることを望んでいます。 ▪ 学校の開放については、学校施設としての指定を部分的に外すことで開放は可能であると考えておりますが、空き教室の状況やその他条件等を踏まえた具体的な検討はこれからとなります。 ▪ 人件費について、すべて市が財政支援できるものではないため、「まちづくり協議会」へ携わる価値観の醸成が必要であるとともに、市からの財政支援という仕組み以外にも、収入を得る仕組みを検討していく必要もあると考えます。
2	<p>【協議会設立に向けて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 今回の協議会設立に関して、高橋氏が主体的に各団体に説明してきたと思いますが、次のステップとして、各地域に説明された団体の人々を集めて協議会設立に向けた会議を開催されたいと思います。協力メンバーを募るシンポジウムの「鶴二」の事例は大変参考になった。 ▪ 現在の組織（北連協、社会福祉計画実行委員会）のボランティアの方は兼任・兼任で広がり欠け、ボランティア疲れを起こしている。NPO 法人化が必要だと思う。事務局の設置は 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 今後、モデル地域となっている「みずき野地区」、「北守谷地区」においては、設立に向けて具体的な検討を行う「設立準備会」を設置することを提案させていただきます。 ▪ 「まちづくり協議会」において、事務局機能は非常に重要であるとともに負担が大きい役となります。そのため、市としても負担を軽減できるような対策、又は負担相当の財政支援

「まちづくり協議会」に関する「御質問・御意見」、それらに対する「市の考え」

No.	御質問・御意見	市の考え
	<p>ボランティアでは難しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 地域づくりを通して、協議会に予算提案権を与えてやる気を起こす事が大事だと思う。 	<p>等を検討していく予定です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 予算提案権については、財政支援の1つとして検討させていただきます。
3	<p>【運営について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ タテ割りが地域割りに、単に会議を行うだけの場になりかねない可能性がある。課題に優先度をつけて、取り組みが「見える」ように。 ▪ 課題は全市又は広域で取り組まなければならないものもある。部会について、全市テーマを柔軟に設定することも必要ではないか。 ▪ 考え方は素晴らしいと思うので、形式的ではなく、実効性の確保を。 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 「まちづくり協議会」は、単に会議を行う場に終わらず、自らが暮らす地域の課題や市民ニーズを把握した上で、自らが優先順位を付け、地域全体の合意の基で課題解決に取り組むことができる組織となることを考えています。会議の段階から取組まで、積極的に公開するとともに情報発信し、「見える化」することで、「まちづくり協議会」の取組を広げていきます。 ▪ 市全域で取り組むべきことや広域的に取り組む必要があるものについては、市が積極的に関わり、地域の代表である「まちづくり協議会」と調整し進めていくことになると考えています。 ▪ 形式的な組織とならないよう、組織づくりから、地域の皆さんとじっくり協議をしていきたいと考えています。
4	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 地域の中で高齢化が進んでいる。顔が見える自治会運営ができるようにと考える機会を得ることができた。高齢になると災害があったときにどうしようとする。鶴ヶ島の事例が参考になった。学校－地域－廃品回収－手伝など小さな手つなぎをしよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 守谷市においても、急激に高齢化が進んでいる地域があります。地域のことを考えるきっかけは、人それぞれですが、地域において「災害」という視点で「地域づくり」を考えることは、必ず必要です。今回の鶴ヶ島第二小学校区地域助け合い協議会の取り組みが参考となり、少しでも地域のことを考えるきっかけとなっただけなら幸いです。
5	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 「ベストマッチした行政サービス」を狙っているとのこと 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 市は、「まちづくり協議会」に対し、人的支援、財政支援、活

「まちづくり協議会」に関する「御質問・御意見」、それらに対する「市の考え」

No.	御質問・御意見	市の考え
	<p>であり、その為に地域からの発信を求めていると理解した。このことは、当初は交付金として、たぶん毎年定額が支給されるのではないかと思う。その枠内で各地域が事業を行う。この段階の次には市の予算構成にも絡んでいくと思う。このあたりをどのように考え、想定しているのか。大枠の理解のために。</p>	<p>動拠点の支援を考えています。財政支援については、交付金型と予算提案権付与型と2種類考えられます。どちらの支援が良いのか、組み合わせた支援が良いのか、具体的な内容は、現在、庁内においてプロジェクトチームを設置し、検討しているところです。</p> <p>また、「まちづくり協議会」は、市から一定の支援を受け、自らが課題解決や地域づくりを実施するだけではなく、地域に必要な行政サービスを把握し、市へ要望する役割も担います。それにより、市は各地域に”ベストマッチ”した行政サービスを提供することができると考えています。</p>
6	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 防災無線放送を一刻も早く稼働させてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 要望として承りました。
7	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 大変良いシンポジウムだった。これからの地域づくりを教えていただき、実践に向けての方向付けを理解できた。守谷市も早急に取り組む必要があると思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 今後、各地域において、設立に向けた取組が具体化することになりますので、御理解と御協力をお願いします。
8	<p>【「まちづくり協議会」活動体制づくりに向けて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 「まちづくり協議会」の組織母体となる①各自治会の現状把握、②地区協議会の活動実体、③各自治会会館の活用状況等、情報集約のうえ各地区問題点を洗い出す。その上で、何から手をつけるか優先順位など提案できるのでは。具体的な活動ができやすいように情報公開するのはいかがか。インセンティブがないと住民参加は難しい。個人的には、防災が最もインセンティブの高い課題と考えている（入りやすい）。 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 御提案いただいたとおり、現状等を把握し情報を集約することは非常に重要で、そうすることにより地域の課題が見えてくると考えています。「まちづくり協議会」設立に向けた取組の中で参考とさせていただきます。
9	<p>【市全体のまちづくりと地域活動計画との関係】</p>	

「まちづくり協議会」に関する「御質問・御意見」、それらに対する「市の考え」

No.	御質問・御意見	市の考え
	<ul style="list-style-type: none"> ▪ まちづくり協議会設置による、「地域主導のまちづくり」については、大いに賛成である。そのうえで2つ質問をする。 ① 国・県及び市全域にわたるまちづくりのグランドデザインと、各々の地域で進めるまちづくりとの整合性はどのように図るのか。 ② 現在進めている「第2期守谷市地域福祉活動計画」に基づき、それぞれの地域で実践している活動及び組織との関係はどのようになるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 市の全体構想は、第二次守谷市総合計画後期基本計画にまとめられています。総合計画は、全方位的にすべての分野の「目指す姿」を定めた網羅的な計画です。各地域で進める「まちづくり協議会」設置による「地域づくり」は、総合計画の政策の中に含まれるものであり、新たな取組ではあるものの、市の全体構想を大きく方向転換するものではありません。そのため、整合性が図れないということはないと考えています。 しかしながら、各地域に「まちづくり協議会」が設立された後に、地域によっては将来ビジョンを示す構想として地域の将来計画（長期基本計画）が策定されることも考えられます。その際には、市の全体構想と各地域の構想の位置付けを明確に示す必要があると考えています。 ② 現在、各地区地域福祉活動計画実行委員会が、計画に基づき活動しています。「まちづくり協議会」は、各地区地域福祉活動計画実行委員会が発展・拡大することを想定していますので、地域に「まちづくり協議会」が設立された際には、「まちづくり協議会」が「第2期守谷市地域福祉活動計画」に基づき活動することになることを想定しています。
10	<p>【まちづくり協議会のエリアについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ パネルディスカッションの中で、地域福祉活動計画による6地区を基本に設置するような流れになっているが、北守谷 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 「まちづくり協議会」の範囲は、6地区を基本と考えていますが、最終的には、地域の皆さんが活動しやすい範囲を決定

「まちづくり協議会」に関する「御質問・御意見」、それらに対する「市の考え」

No.	御質問・御意見	市の考え
	<p>地区は人口が約 17,000 人の規模からすると広すぎると思う。そこで、もう少し狭いエリアで設定したら良いと思う。例えば 6 地区を基本としたうえで、さらに細分化した部会を作ったら良いと思う（例：松前台地区，久保ヶ丘地区，御所ヶ丘地区，薬師台地区）。</p>	<p>していただきたいと考えています。御指摘のとおり，部会やブロックといった形で，エリアを区切るという方法も考えられます。参考とさせていただきます。</p>
11	<ul style="list-style-type: none"> ■ これからの 20～30 年後の人口減少を見据えた時に予想した協議会の考え方を知りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 少子高齢化による人口減少が始まってから「まちづくり協議会」の設立を目指すのでは、「地域づくり」を担う人材が確保できず，手遅れになります。将来を見据えて，今，「まちづくり協議会」を設立することで，「地域づくり」の担い手を育てる仕組みを構築することができ，20 年後，30 年後，人口が減少する中でも，「地域づくり」を継続することができ，将来にわたり活力ある地域社会を維持することができます。
12	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自治会への補助金が一世帯当たり 1,000 円/月と聞くが，活動資金というよりも役員のお小遣い手当てとして消えてしまっているのではないか？会費を集め，市が補助金を払っているのに，会の規律もなく，昔からの住民の自分勝手な運営となっており，運営は不明朗。このようなことでは「まちづくり」はうまくいかない。4 丁目の UR 機構の最後の分譲地（元小学校用地）だけで子ども会を作る取り組みもいつの間にかなくなっているが，どこからかの圧力が加かったのではないか？柏の豊四季団地のように，東大柏キャンパス等と協定を結んでノウハウを学ぶべきではないか。あるいは健康管理なら筑波大と協定を結ぶ方法もある（茨城県内自治体で実績あり）。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 各地域だけでは解決できないコト，補えないコトについては，市のみならず，大学等の連携も必要になってくるかもしれません。参考とさせていただきます。 <p>[参考]</p> <p>広報紙等の文書配付や連絡調整を業務として各自治会・町内会へ委託しております。委託金額は，均等割 5,000 円＋世帯割 1,500 円/世帯×世帯数となります。</p>

「まちづくり協議会」に関する「御質問・御意見」、それらに対する「市の考え」

No.	御質問・御意見	市の考え
13	<p>【事例紹介を拝聴して】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 年度初の区長業務説明会において、事例を要約して市民協働推進課が説明してくれると良い。 ▪ 地域で活動している団体の整理統合が必要と思った。 ▪ 守谷市地域防災計画を示してほしい。地域活動の基本となる（住民の心配）ものだから（安心安全の確保）。 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 区長業務説明会においての説明について御提案としてお受けいたしました。 ▪ 地域で活動している各団体は、それぞれが目的を持って活動をされているので、統合というのは難しいと考えています。統合ではなく、各団体同士がつながり、連携や相互補完することで、「より活動内容が充実する」、「より広い範囲で活動を展開する」といったことを考えていきます。 ▪ 地域防災計画については、平成 29 年度中に策定予定です。
14	<p>【まちづくり協議会設立の提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 具体的に、一定のまとまりのある地域においてとあるが、集会の場である公民館もなく、世帯数も少ない自治会についてはどのように考えるか。又、どの様な形でまとまりある地域になっていくのがよいのか。例として具体的に上がっている自治会は世帯数・住民数（会員数）が多い地区での取り組みが主である。（世帯数の少ない自治会が守谷市にもいくつかあると思いますが）素晴らしい取り組みだと感心するが、参考にならない。 ▪ 例えば、他の自治会の施設を借りる場合、有償である。その補助金制度があると良いと思うが。 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 「まちづくり協議会」は、単独の自治会・町内会で構成する組織ではありません。複数の自治会・町内会にわたった広がりのある地域において、様々な団体や人がつながり組織するものです。すでに活動している各地区地域福祉活動計画実行委員会により多くの団体等を取り込み、自治会・町内会と連携することで「まちづくり協議会」へ発展・拡大していただくことを想定しています。様々な団体や人をつなぐ役割は、ある程度、行政が担うべきと考えています。世帯数が少なく地域において様々な取組が実施できない自治会・町内会でも、「まちづくり協議会」と連携することで、実施できる事も増えると考えています。 ▪ 御指摘の補助制度につきましては、「まちづくり協議会」に対する財政支援とは別に、他制度のあり方と合わせて検討させ

「まちづくり協議会」に関する「御質問・御意見」、それらに対する「市の考え」

No.	御質問・御意見	市の考え
		<p>ていただきたいと思えます。</p>
15	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 高齢化対策，地域住民との関わりで重要な流出入口の歯止めには，勤務世代がいかに在住し続けられるか，共働き世代そして親離れして自立した際，就職含めて市内に戻ってこられる環境を整えること。現在つくばエクスプレスで都内勤務約7年経ち，通勤者が確実に多くホームに溢れかえっている。いずれ流出人口となって守谷市を出て行かれる理由につながっていくと危惧している。今回の質疑時間が少なく残念だった。市政への質問もあればと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 若い世代が地域に誇りを持ち，地域づくりに関心をいただいていたことは，非常に重要であると考えます。若い世代が「地域づくり」に参加できるような「組織体制」が整えられるよう地域の皆さんと検討を進めたいと思えます。
16	<p>【協議会設立へ向けた取り組みについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 地域担当職員と協議会の関わりについて（負担度，任務内容等）をはっきりしておくと思う。 ▪ 鶴ヶ島では年配者がやっているとの事だが，いかに若い人を入れていくかを考えた方が良く思う。 ▪ 各地区の問題等は，各地区で考えればよいと思うが，市で把握している問題点など，協議会で役立つと思われる事は公開してもいいのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 「まちづくり協議会」への人的支援は，地域担当職員制度の見直しも含めて検討していく予定です。 ▪ 市としても，「地域づくり」に可能な限り若い世代を取り込んでいくべきだと考えております。まずは，何かしらの関わりを持っていただく仕掛けを地域の皆さんと考えていきたいと思えます。 ▪ 御指摘のとおり地域課題の抽出や将来ビジョンの検討は，市が持つ情報が必要な場合が多々あると考えています。地域が必要な情報は，積極的に共有していきたいと思えます。
17	<p>【目的等について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ まちづくり協議会を設立し推進していくことに賛同する。「設立の目的」の3項目が市から地域への丸投げに受け取れるため，次のような案はいかがかと（提案）。「住民一人ひとりが生きがいを持って住みよい街にするため，住民に密着 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 御提案ありがとうございます。各地域への説明の際に，地域への丸投げと受け取られないよう，御指摘いただいた提案を参考に説明していきたいと思えます。

「まちづくり協議会」に関する「御質問・御意見」、それらに対する「市の考え」

No.	御質問・御意見	市の考え
	<p>した各地域に協議会を設立し、①地域の課題の把握・検討・対応。②地域づくりの推進。③地域づくりの担う人材育成を実施する。」</p>	
18	<p>【「協議会」の設立・参画について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 市側の趣旨について理解できた。実際に地区で協議会の活動に参画したいと考えているが、現在、町内会から連絡（設立に際して、本地区での方針説明など）が一切ない。どのような形で参画していけるのか、御教示願う。 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 設立に向けた取組は、これからがスタートとなります。現時点では、各地域において、参画を募るなどの具体的な取組まで進んでいない状況です。今後、「まちづくり協議会」の核となる各地区地域福祉活動計画実行委員会の皆さんと協議し、組織体制や地域の皆さんの参画の仕方なども決定していきたいと思えます。大変申し訳ございませんが、決定し次第、広報紙や市ホームページ、自治会・町内会を通じて御案内させていただきます。
19	<p>【まちづくり協議会設立に対する町内会の対応について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 町内会会長の立場として出席した。本計画を進めていくに際して、町内会として基本的にどのように取り組んでいけば良いのか、いつまでに何を行えば良いのか、今時点及び今後どのような内容で町内会に情報を落としていけば良いのか、イメージが浮かばない。これから準備を進めていく中で具体的になってくる内容もあるかと思うが、町内会会長の立場で何を進めていけば良いのか、分かりやすく説明いただきたい。また、今後、町内会代表として、会議体への出席等も予定しておいた方が良いのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 「まちづくり協議会」は、すでに様々な活動を展開している各地区地域福祉活動計画実行委員会に、より多くの団体等を取り込み、自治会・町内会と連携することで発展・拡大することを想定しています。地域の現状を把握し活動している自治会・町内会が連携することは非常に重要であると考えています。しかしながら、連携の形態等は、地域の特性に合わせた形になりますので、必ずしも一様ではないと考えております。現在、モデル地域として「みずき野地区」、「北守谷地区」の地域福祉活動計画実行委員会が先行的に具体的な検討を始めておりますので、その中で、自治会・町内会の関わり方を整理し、一例として皆さんにお示ししたいと考えておりま

「まちづくり協議会」に関する「御質問・御意見」、それらに対する「市の考え」

No.	御質問・御意見	市の考え
		<p>す。</p> <p>現時点においては、区長さんとして、市が「まちづくり協議会」の設立を考えているという点を御承知おきいただき、「守谷地区」においても具体的な検討が始まった際には、検討に加わっていただきたいと思います。</p>
20	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 協議会の基準はどこを基本とするのか（例として学校単位とするのか） 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 「まちづくり協議会」の範囲は、自治会連絡協議会・地域福祉活動計画実行委員会 6 地区を基本として考えています。
21	<p>【まちづくり協議会の範囲と取り組み方について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 現状の 6 協議会をベースとする話の流れになっていたが、守谷地区は既に約 23,000 人の人口があり、更に松並青葉地区等で今後も人口流入が見込まれる事から、組織が少し大きすぎると思う。必ずしも市の提案どおりである必要はないと思うが、あまり対象人口が多すぎると組織がかけ声だけで中身が伴わない恐れありと考える。 ▪ 一方、個々のテーマについての活動は、「つむぎ」さんのように、比較的広域を対象に既に活動されている方々もあり、そうした方々の力は是非活かすべきかと思う。そこで、協議会は、各町内会という「狭い地域の総合窓口」と、NPO さんのような「個々のテーマで広域対応」されている方々とをマッチングさせる機能に力を入れてみてはと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 「まちづくり協議会」の範囲は、自治会連絡協議会・地域福祉活動計画実行委員会 6 地区を基本として考えています。守谷地区においては、地域福祉活動計画実行委員会も地域毎に 5 ブロックに分かれて活動を展開しています。「まちづくり協議会」についても、部会やブロックといった形で、エリアを区切るという方法も考えられます。範囲については、6 地区を基本としながらも、市が一方的に決めるのではなく、最終的には地域の皆さんに決定いただきたいと思います。 ▪ 御指摘のとおり「まちづくり協議会」の機能は、「総合窓口」・「マッチング」等、地域のコーディネートを担うということも考えられます。
22	<p>【協働のまちづくりとの関連は？】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 「協働のまちづくり」は以前から活動していると思うが、そ 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 「まちづくり協議会」設立による「地域主導のまちづくり」

「まちづくり協議会」に関する「御質問・御意見」、それらに対する「市の考え」

No.	御質問・御意見	市の考え
	<p>の成果実績の検証のうえ、そのつながりを大切にしてい立ち上げるべきでは。思うに過去の組織に新しい血が入っていないのでは……。古い酒袋に新しい酒と言うではないか。それぞれのトップに長い期間携わっている人が新しい血（人・意見）を入れていないのでは（新しい人材を投入が要！）。まちづくりには鳥が卵の殻を破るように、思い切った行動が必要と思う。守谷の高齢化はもう待ったなしだ。松丸市長はもう人の話を聞くより自分の経験を活かすべき！</p>	<p>の実現は、守谷市がこれまで推進してきた「協働のまちづくり」をさらに推し進めるものです。御指摘のとおり、「まちづくり協議会」に、より多くの方を取り込み、人材を育成することで、「地域づくり」が加速すると考えています。その仕組みづくりについても、「まちづくり協議会」設立と合わせて構築していきたいと考えています。</p>